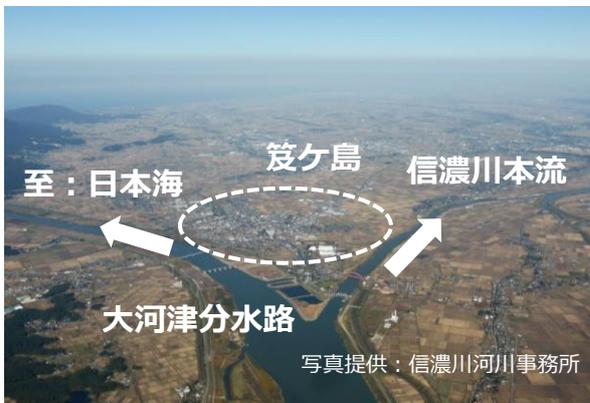


## 笈ヶ島地区（新潟県燕市）

### 1. 笈ヶ島地区の概要

- ・人口 683 人、世帯数 201 世帯、地区面積 1.01km<sup>2</sup>
- ・笈ヶ島地区は、燕市の南西に位置し、付近に「信濃川」及び「大河津分水路」が流れている。
- ・かつて暴れ川と恐れられていた信濃川は、1922（大正 11）年に完成した『大河津分水路』の恩恵により、以来、燕市はもとより信濃川下流域にも大きな水害は発生しなくなった。
- ・万一、河川が氾濫した際は大きな被害が予想される。



出典 Google Map

### 2. 笈ヶ島地区の取り組み状況

#### (1) 消防団と連携した避難訓練の実施（年 1 回）



防災資機材の整備



排水路の草刈りやゴミ拾い



before



after

## (2) 燕市防災リーダー養成講座への参加と防災マップづくり

- ・平成 24 年度から始まった市主催の講座を笈ヶ島のリーダーが毎年受講し、地区防災計画づくりがはじまった。
- ・その端緒として「防災マップ」を作成を開始した。

## 3. 平成 26 年度の目標と活動スケジュール

### (1) 平成 26 年度目標

- ・防災マップ完成と全戸への配布
- ・作業を通じて明らかになった課題の解決方法についての検討

### (2) 活動スケジュール

H26.7	燕市防災リーダー養成講座受講修了（全4回）
H26.7.31	地域リーダーとの活動の進め方打ち合せ
H26.10	内閣府「地区防災計画モデル事業」に応募 → 11月採択
H26.12.6	地域の災害履歴等の状況確認ワークショップ開催
H27.1.27	作成された地図の確認と、そこでの課題や具体的対応の検討
H27.2.10	近隣の地元企業と緊急避難場所提供について意見交換
H27.2.12	近隣自治会と広域的な防災・防犯・消防について意見交換
H27.3～	防災マップ完成 → 地域の集会所にマップ掲示と全戸配布

## 4. ワークショップの状況（12/26、1/27）

- ・自治会役員だけではなく、若手消防団員なども参画して、これまでの大雨の記憶を標高点の入った 1/2,000 の地図（※）に落とし込んでいく。



※国土地理院基盤地図情報を活用し「笈ヶ島用」の白図を製作

## 5. 計画策定中に見えてきた課題

### (1) 避難場所の不足

- 1) 筈ヶ島自治会内の市指定避難所は県立高校と市立保育園があるが、保育園は平屋建てで水害時には使用不可。県立高校は3階建てだが、市の洪水ハザードマップでは1・2階部分も浸水する想定で、使用できるのは3階部分のみ。

平日に高校生がいる状態では、住民は収容できないのではないかな？

→地域内にある「老健施設」（市指定避難所隣）に着目。

→隣の自治会に立地し地域の中央から徒歩約10分で地上3階建ての地元企業に着目。

- 2) 自治会を国道116号線が分断し、最寄りの市指定避難場所も異なっている。

いざ避難行動が必要になった際、まとまった避難行動ができるだろうか？

→隣接する4自治会と「防災・防犯・消防」について意見交換を開始。

→防災マップも地域内で完結しないので、他地区との連携が必要。

(防災マップのノウハウ提供など)

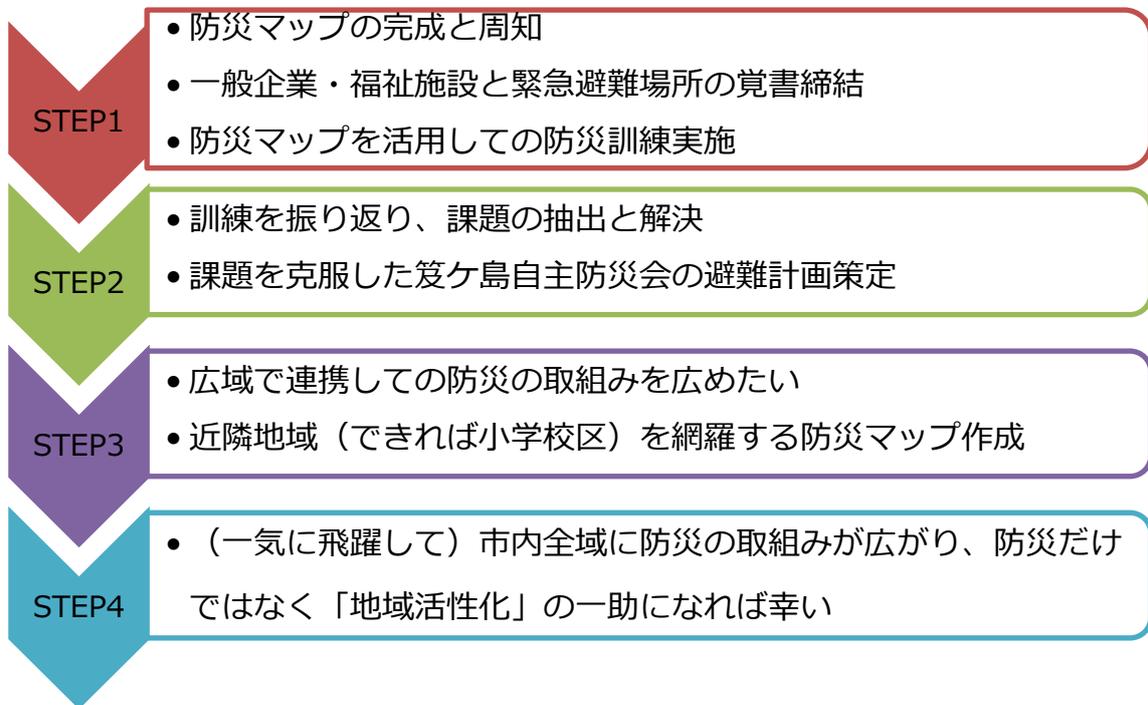
## 6. 今後の予定

- ・防災マップの周知

地区内の4集会所に掲示（A0版）、全戸配布（A3版）。

- ・マップを活用した防災訓練の実施

- ・今後の展望



\*参考資料 内閣府 地区防災計画モデル事業報告会 筈ヶ島地区報告資料